

施策カルテ

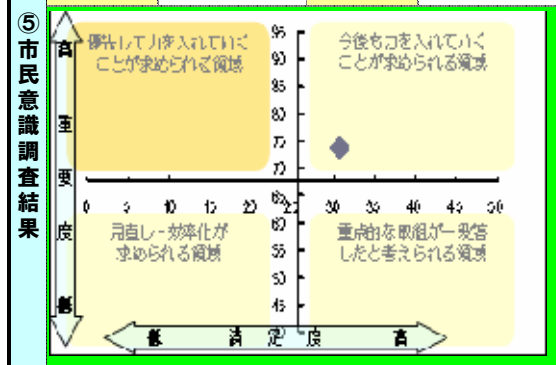
1 施策の位置付け

担当課 農業振興課

総合計画 政策の柱	市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	農林業の付加価値を高める	取組の 基本方向	「農林業の付加価値を高める」ため、担い手の育成や生産基盤の充実などにより、安定した稲作経営を実現するための「安定した水田農業基盤の確立」、農産物の品質を向上するとともにブランド化を推進し、産地間競争に打ち勝つための「農産物の産地力の向上」、魅力や活力ある農村社会を形成するための「農村地域の活性化」、農林業のさまざまな公益的機能を維持・向上するための「環境と調和した農林業の推進」に、重点的に取組みます。	政策目標 (基本施策目標)	生産力や産地力の向上、良好な農村環境の形成など、総合的に農林業の付加価値が高まっています。
--------------	-------------------------------	----------------	--------------	-------------	--	------------------	---

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	農産物の産地力の向上		④ 施策の達成状況	施策指標(単位)						達成率 (%)	
	産地間競争に打ち勝つ、市場価値の高い農産物が生産されています。			H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標		
	国・県等の動向			⑤ 市民意識調査結果	指標① (総合計画に基づく指標)	4,370	4,465	4,560	4,655	4,750	73.4%
	外部意見その他				指標②	4,649	4,218	4,250	3,487	-----	
達成度(単年度目標)		指標③	-----		-----	-----	-----	-----	#DIV/0!		
必要性・緊急性(住民・社会ニーズ)		指標④ (特記事項)	-----		-----	-----	-----	-----		-----	



3 今後の取組方針

⑧取組の 考え方	総論	食料自給力・農業所得の向上を図り、本市農業の持続性を高めていくためには、生産基盤の整った本市の優良な農地と立地の優位性などを最大限に活用することで、産地間競争に打ち勝つことのできる市場価値の高い農産物の生産力、販売力を強化する。	⑨政策評価 会議意見	同左
	重点事業	・市場性の高いブランド農産物の生産を継続するためには、ブランド農産物の知名度の向上と消費の拡大が必要であるため、地元及び首都圏におけるPR活動を継続するほか、食や観光と組合せた消費者向けの農業体験事業や、実需者向け商談会などの取組を強化していく。 ・農畜産物の高品質化を図るための土づくりや生産技術の高位平準化に資する取組を強化していく。 ・生産力・市場価値の向上を図るため、高品質な農作物を生産拡大する施設等の導入などの取組を強化していく。		
	見直し事業	・「牛受精卵移植促進事業補助金」については、優良な血統の子牛を安定して確保するために牛受精卵移植促進事業を推進してきたところであるが、受胎率が低いため、平成22年をもって廃止する		

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H21	H22	H21	H22	重点度 (A~C) ※施策目標 に対する 寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
1	農林産物ブランド化推進事業補助金	うつのみや農産物ブランド推進協議会	H11	H21年度 うつのみや産農畜産物の市民認知度 H22年度 ふるさと祭り東京 うつのみやブース来場者数(1日平均)	プレミアムトマト: 19.8%, プレミアム13梨: 17.6%, 宇都宮牛: 56.2%	2,100	5,000	4,310	A	継続	市場性の高いブランド農産物の生産を継続するためには、ブランド農産物の知名度の向上と消費の拡大が必要であるため、地元及び首都圏におけるPR活動を継続するほか、食や観光と組合せた消費者向けの農業体験事業や、実需者向け商談会などの取組を強化していく。
					目標値と同じ	2,100					

様式 2

2	適正施肥推進事業補助金（園芸作物）		宇都宮農業協同組合、 農業生産法人、農事組 合法人、その他農業者 の組織する団体	S49	H21年度 高品質化栽培マニュアル及び実践数 H22年度 土壌診断に基づく施肥設計作物数	1本	2	110	95	A	継続	これまでブランド品として確立しているトマト・なしを対象とした品質向上策を進めてきたが、今後は、重点5品目を中心に、県やJAなどの技術者との連携を図り、高品質で、ばらつきの少ない農産物を目指す。
	担当課	農業振興課				1本	1					
3	園芸作物生産施設等整備事業補助金		宇都宮農業協同組合、 農業生産法人、農事組 合法人、その他園芸作 物の生産団体	H6	パイプハウスの補助事業導入面積 園芸作物の新技術の導入面積	4,00ha,30a	4,00ha,30a	14,142	10,720	A	継続	これまで規模拡大を図る園芸農家を中心に支援を行ってきたが、今後は、品質向上に加え、低コスト化に対する支援を行う。
	担当課	農業振興課				1,78ha,0a	0,51ha,0a					
4	宇都宮牛復興プロジェクト補助金		宇都宮牛協会	H20	宇都宮牛出現率	76%	80%	6,484	6,298	A	継続	宇都宮牛の出現率及び出荷頭数のさらに向上させるため、飼育手法やマニュアルの改善を支援するとともに、宇都宮牛の更なる知名度向上とブランド力向上を図る新たな取組を検討する。
	担当課	農業振興課				63%	69%					
5	優良繁殖雌牛導入事業補助金		宇都宮農業協同組合	H16	優良繁殖雌牛導入頭数	6頭	10頭	1,440	1,654	A	継続	優良な和牛肥育素牛の生産体制を確立するためには、優良な血統の繁殖雌牛の導入が必要である。今後は、宇都宮牛となりうる血統の雌牛導入を検討する。
	担当課	農業振興課				6頭	10頭					
6	しいたけ生産施設整備事業補助金		宇都宮農業協同組合、 生産組合	H13	生しいたけの生産量 生しいたけの販売額 施設整備補助団体	197t,254,430円	197t,254,430円	14,544	14,544	B	継続	菌床栽培に必要な機械や設備導入を中心に事業を展開し、主要な機械等の導入はほぼ完了したことから、今後は、生産・出荷の能力向上に向けた施設導入支援を行う必要がある。
	担当課	農業振興課				168t,164,957円	168t,160,249円					
7	家畜伝染病予防対策事業補助金		宇都宮市家畜防疫団体 連絡協議会 宇都宮市酪農組合	S47	予防接種 脱臭剤等購入	1,000本,60,000円	1,000本,60,000円	3,290	3,313	B	継続	伝染病は広域にまん延する可能性があるため、市全域、全畜種を対象に防疫活動に取り組む必要がある。防疫・環境対策は広範囲で継続的な取組が求められており、防疫対策が畜産農家による個人差が生じることを避ける必要があることから、今後も事業を継続する。
	担当課	農業振興課				1,668本,92,000円	1,340本,71,000円					
8	畜産経営環境対策事業補助金		3戸以上の営農集団 （畜産農家、畜産農家 と連携する耕種農家）	S47	機械導入	2台	3台	2,015	0	B	継続	良質なたい肥の生産及び利用による耕畜連携の推進、また、飼料米や飼料作物の生産拡大を促進するため、省力機械導入の一層の推進を図る。
	担当課	農業振興課				2台	0台					
9	イノシシ防護柵導入事業補助金		農業生産者	H20	設置箇所数	10箇所	10箇所	530	627	B	継続	イノシシによる農作物の被害が拡大傾向にあり、被害防止に対する農家のニーズは高い。被害を最小限にとどめるため、防護柵導入を推進する。
	担当課	農業振興課				12箇所	15箇所					
10	牛受精卵移植促進事業補助金		JAうつのみや ET研究会	H16	牛受精卵移植	140頭	140頭	700	500	C	廃止	これまで、受精卵移植技術の利用により優良な血統の和牛肥育元牛の生産拡大を図ってきたが、受胎率は50%程度と低水準にあることから事業を廃止する。
	担当課	農業振興課				163頭	63頭					
11	畜産担い手育成総合整備事業補助金		財団法人 栃木県農業 振興公社	H19	草地等造成・整備 農業用施設等整備 農機具導入	3,41ha,1,120㎡	14,40ha,5,200㎡	81,802	1,877	C	継続	自給飼料生産基盤の拡大及び家畜頭数増加に伴う農業用施設整備等を推進するため、関係機関と連携し、事業を推進する。
	担当課	農業振興課				2,51ha,466㎡	3,67ha,0㎡					
施 策 事 業 費 合 計								130,057	43,938			